

## 労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成 27 年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。

本セミナーでは、快適に働ける職場環境づくりを行なうためのポイントや具体的な進め方等をご説明するほか、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナー番号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の 2 週間前までにお申し込み下さい。

	日時	時間	プログラム
<b>終了</b>	6 月 11 日(月)	13:30 ～ 15:30	「平成 30 年度 労働行政動向の一大ポイント！をここで学びます (労務管理の重点事項研修 1 回目)」 内容：36 協定の締結実務及び長時間労働抑制について
<b>終了</b>	7 月 23 日(月)	13:30 ～ 15:30	「社労士が教える 社会保険と労働保険の実務セミナー」 「1 回目 社会保険の基礎実務」
<b>3</b>	8 月 13 日(月)	13:30 ～ 15:30	「社労士が教える 社会保険と労働保険の実務セミナー」 「2 回目 労働保険の基礎実務」
<b>4</b>	9 月 10 日(月)	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成 30 年度の助成金をまるっと紹介」
<b>5</b>	10 月 15 日 (月)	13:30 ～ 15:30	「医療従事者が職場で行う PDCA の実践 (仮)」 内容：ワーク・ライフ・バランス推進リーダーに役立つ事例と ワークショップ
<b>6</b>	11 月 12 日 (月)	13:30 ～ 15:30	「平成 30 年度 労働行政動向の一大ポイント！をここで学びます(仮)」 (労務管理の重点事項研修 2 回目)」 内容：労働時間把握、長時間労働抑制を念頭に契約書締結実務

✚ セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。

✚ セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川 218-9）で開催いたします。

----- 参加申込票 -----

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	1	2	3	4	5	6
施設名						
職氏名						

沖縄県医師会事務局  
 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 崎原  
 TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

# 沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 6 月 1 日発行 第 71 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)  
〒901-1105 南風原町字新川 218-9  
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089  
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

## ★労務管理トピック

### 病院勤務医の負担軽減

#### ～「医師事務作業補助体制加算」について～

認定登録 医業経営コンサルタント 上原 英敬

平成 28 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査の『勤務医の負担軽減策の効果』において、医師や施設から勤務医の負担軽減に効果があるとされている医師事務作業補助体制加算(者)は、さらなる勤務医の負担軽減の取り組みの推進として、平成 30 年度改定では医師事務作業補助体制加算の施設基準に**病院勤務医の負担軽減策として効果がある複数の取り組みを計画に盛り込むこと**を要件化するとともに、点数の引き上げが行われました。

具体的には、以下のような取り組みを行う必要があります。

- ① 当該病院に勤務する医師の勤務状況の把握及び必要性について提言する責任者の配置
- ② 病院勤務医の勤務時間及び当直時間を含めた夜間の勤務状況を把握。その上で業務量や内容を勘案し、特定の個人に業務が集中しないよう配慮した勤務体系の策定
- ③ 多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議を設置し、「病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」を作成  
(院内の職員に向けて周知徹底するとともに、役割分担推進のための委員会等で状況を定期的に評価・見直しを行う)
- ④ 勤務医の負担軽減・処遇の改善に関する取組事項の公開(院内掲示等)

## ★Q&A



Q : 「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」とはどのようなものですか？

A : 「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」には、以下の内容を含む必要があります。

1. 現状の勤務状況等を把握し、問題点を抽出した上で、具体的な取り組み内容と目標達成年度等を含めた病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画とする。
2. 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容(例えば、**初診時の予診の実施、徐脈採血等の実施、入院の説明の実施、検査手順の説明の実施、服薬指導**等)について記載を行う。
3. 医師の勤務体制等に係る取組みについて、次に掲げる項目のうち少なくとも**2項目以上**含んでいる。
  - ① 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
  - ② 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保(勤務間インターバル)
  - ③ 予定手術前日の業務内容に対する配慮
  - ④ 当直翌日の業務内容に対する配慮
  - ⑤ 交代勤務制・複数主治医制の実施
  - ⑥ 育児・介護休業法第 23 条第 1 項、同条第 3 項又は第 24 条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用

# 沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 6 月 15 日発行 第 72 号

沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）  
〒901-1105 南風原町字新川 218-9  
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089  
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

## ★労務管理トピック

平成 30 年度診療報酬改定 ～「医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進」について～

（公社）日本医業経営コンサルタント 狩俣 一郎

平成 30 年度診療報酬改定では「医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進」について「①チーム医療等の推進（業務の共同化、移管等）等の勤務環境の改善」、「②業務の効率化・合理化」の二つの目的で改定が行われました。これまでも「医師事務作業補助体制加算」や「急性期看護補助加算・看護補助加算」、また、「常勤配置の取扱いの明確化」などが示されてきましたが、今回の改定では「常勤要件・専従要件の緩和」等を中心に施設基準の見直しが行われました。

具体的には、以下のような改定の項目となります。

- ① 医療従事者の勤務環境改善の取組の推進、② 医師等の従事者の常勤配置に関する要件の緩和、
- ③ 常勤の薬剤師に係る週当たりの勤務時間の特例、④ 救命救急入院料等における医師の勤務場所に関する要件の緩和、⑤ ICTを活用した勤務場所に関する規定の緩和、⑥ 看護職員と看護補助者との業務分担・共同の推進、⑦ 専従要件の緩和、⑧ 地域包括診療料等の見直し、⑨ 小児科療養指導料の見直し、
- ⑩ 情報通信技術（ICT）を活用した関係機関連携の推進、⑪ 麻酔科の診療に係る評価の見直し。

### ★Q&A

Q：「常勤配置の取扱いの明確化」とは具体的に何ですか？

A：平成 28 年度の改定に常勤配置について産前・産後休業及び育児・介護休業を取得した場合に下記の取扱いが可能となりました。

今回、平成 30 年度の改定についてはこれらの取扱いに加えて、一定の領域の診療報酬について、医師やリハビリ専門職及び看護師では週 3 日以上かつ週 24 時間以上の勤務を行っている複数の非常勤職員を組み合わせる常勤換算でも配置可能とする常勤配置要件の緩和が行われました。



## 医療従事者の負担軽減・人材確保について⑦

### 常勤配置の取扱いの明確化

➤ 施設基準上求められる常勤の従事者が、産前・産後休業及び育児・介護休業を取得した場合に、同等の資質を有する複数の非常勤従事者を常勤換算することで施設基準を満たすことを原則認める。

例）常勤医師 1 名、常勤看護師 1 名の配置要件の場合



常勤看護師が育児休業を取得



育児休業を取得している期間、非常勤看護師 2 名の常勤換算により施設基準を満たすことが可能。

休業期限

※ 常勤換算される非常勤従業者は各々が当該施設基準上求められる資質を有していなければならない。  
例）経験年数〇年以上、所定の研修を修了していること等

➤ 育児休業後等の従事者が短時間勤務制度を利用し、正職員として勤務する場合、育児・介護休業法で定める期間は週 30 時間以上の勤務で常勤扱いとする。

短時間勤務制度利用期間



短時間勤務制度を利用している期間は週 30 時間以上の勤務で常勤としてカウント可能。

10

出典：厚生労働省 平成 28 年度診療報酬改定の概要（改）

### ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

# 医療勤務 環境改善 支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。  
本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報  
提供

助言

支援

医療勤務  
環境改善に  
関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）  
労働安全衛生（スタッフ健康支援）  
施設環境整備（ハード・ソフト）  
キャリア形成支援等

診療報酬制度面  
医療制度・医療法制度面  
組織マネジメント・経営管理面  
各種補助メニューの活用提案

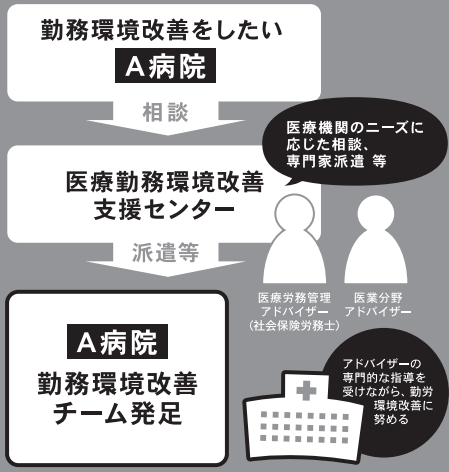
お問い合わせ

TEL:098-888-0087

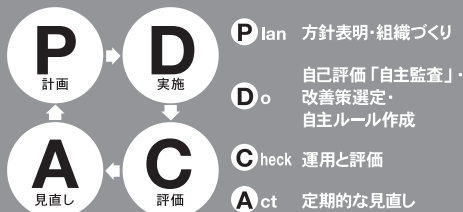
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川1218-9  
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryou-kinmukankyoku.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】



PDCAサイクル



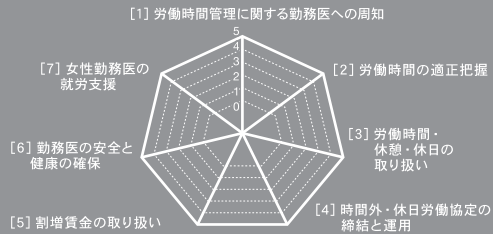
日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会  
勤務医の労務管理に関する  
分析・改善ツール  
[http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien\\_tool201403.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf)



勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：平成 年 月 日

所属機関	.....		
連絡先	TEL	内線	
担当者氏名	.....		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面		
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談		
希望日	平成	年	月 日

沖縄県医師会

講演会・例会のご案内

(8月10日～10月9日)

カリキュラムコード(略称:CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1	全身倦怠感	18	けいれん発作	35	胸やけ	52	不安	69
医療倫理:臨床倫理	2	身体機能の低下	19	視力障害、視野狭窄	36	腹痛	53	気分の障害(うつ)	70
医療倫理:研究倫理と生命倫理	3	不眠	20	目の充血	37	便通異常(下痢、便秘)	54	流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4	食欲不振	21	聴覚障害	38	肛門・会陰部痛	55	成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5	体重減少・るい瘦	22	鼻漏・鼻閉	39	熱傷	56	慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6	体重増加・肥満	23	鼻出血	40	外傷	57	高血圧症	74
医療の質と安全	7	浮腫	24	嗝声	41	褥瘡	58	脂質異常症	75
感染対策	8	リンパ節腫脹	25	胸痛	42	背部痛	59	糖尿病	76
医療情報	9	発疹	26	動悸	43	腰痛	60	骨粗鬆症	77
チーム医療	10	黄疸	27	心肺停止	44	関節痛	61	脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11	発熱	28	呼吸困難	45	歩行障害	62	気管支喘息	79
地域医療	12	認知能の障害	29	咳・痰	46	四肢のしびれ	63	在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13	頭痛	30	誤嚥	47	肉眼的血尿	64	終末期のケア	81
災害医療	14	めまい	31	誤飲	48	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65	生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15	意識障害	32	嚥化困難	49	乏尿・尿閉	66	相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16	失神	33	吐血・下血	50	多尿	67	その他	0
急性中毒	17	言語障害	34	嘔気・嘔吐	51	精神科領域の救急	68		

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
08/15 (水) 19:30	那覇市医師会館	うつ病対策強化事業(講演会) <b>(日医生涯教育講座)</b> プライマリ・ケア医が診る、働く人のうつ病・自殺予防について ～働き方改革を含めて～	山本 和儀(山本クリニック院長)	2.0単位・20(69)	那覇市医師会 事務局 上地 098-868-7579 参加費 なし
08/16 (木) 19:20	ラグナガーデンホテル	浦添地区糖尿病治療を考える会 <b>(日医生涯教育講座)</b> 循環器内科医からみた糖尿病治療戦略	上原 裕規(浦添総合病院循環器センター)	1.0単位・76)	小野薬品工業(株) 久津間 良一 098-876-7680 参加費 なし
08/22 (水) 13:00	首里城下町クリニック	第5回沖縄県高血圧Webセミナー <b>(日医生涯教育講座)</b> 抗凝固療法中の高血圧治療 ～どこまで下げる?どうやって下げる?～	石原 綾乃(琉球大学医学部附属病院)	0.5単位・74)	武田薬品工業(株) 吉田 裕亮 098-866-4568 参加費 なし
08/30 (木) 18:45	ホテルアトールエメラルド宮古島	糖尿病セミナー in 宮古島 ～糖尿病性腎症重症化予防プログラムを踏まえて～ <b>(日医生涯教育講座)</b> ①糖尿病性腎症重症化予防プログラム ②今どきの糖尿病治療 ～医療費を踏まえて	①比嘉 啓(首里城下町クリニック第二院長) ②高橋 隆(大浜第一病院糖尿病センター長)	①0.5単位・4) ②0.5単位・76)	宮古地区医師会 事務局 0980-73-1639 参加費 なし

//////////////////// 講演会・例会のご案内 //////////////////////

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
08/31 (金) 19:30	ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城	沖縄県静脈血栓症治療研究会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①(仮)静脈血栓症関連の最新の話 ②リアルワールドにおける静脈血栓症の治療について(ディスカッション)	①山本 剛(日本医科大学附属病院心臓血管集中治療科講師) ②嘉数 真教(豊見城中央病院循環器内科部長)	①0.5単位・62) ②0.5単位・63)	バイエル薬品(株) 森川 慎介 0120-077-552 参加費 なし
09/02 (日) 10:00	琉球大学医学部臨床講義棟	沖縄県I型糖尿病患者会 ①I型糖尿病の治療と未来 ②生体腎移植および脳下垂移植 ③グループディスカッション	①竹本のぞみ(琉球大学医学部附属病院第二内科) ②患者体験談		琉球大学医学部附属病院第二内科 竹本のぞみ 098-895-1146 参加費500円
09/07 (金) 19:20	ハイアットリージェンシー那覇沖縄	植込み型デバイスとリード・マネージメント <b>(日医生涯教育講座)</b> ①遠隔モニタリングの運用に関する最新の知見・超高齢社会における抗血栓療法の見直しも含めて・ ②植込み型デバイスのリード・マネージメントに関する最新の知見	①細木 信吾(高知医療センター循環器内科科長) ②庄田 守男(東京女子医科大学病院循環器内科臨床教授)	①0.5単位・12) ②1.0単位・8)42)	第一三共(株) 近藤 健二 098-869-9260 参加費 なし
09/11 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①②未定	①1.0単位・1)9) ②1.0単位・15)73)	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-888-5552 参加費 なし
09/11 (火) 19:00	沖縄病院会議室	第265回肺癌症例検討会 <b>(日医生涯教育講座)</b> 末梢小型肺癌に対する縮小手術の検討	饒平名 知史(国立病院機構沖縄病院)	2.0単位・2)15)0)	国立病院機構沖縄病院 川畑 勉 098-898-2121 参加費 なし
09/21 (金) 19:30	沖縄県医師会館	沖縄県インフルエンザウイルス感染症学術講演会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①「夏季のインフルエンザについて」 ②「呼吸器感染症を識る・診る・治す～インフルエンザを中心に～」	①高山 義浩(県立中部病院感染症内科・地域ケア科) ②柳原 克紀(長崎大学大学院歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野教授)	①0.5単位・11) ②1.0単位・8)	第一三共(株) 豊島 一雄 098-869-9260 参加費 なし
09/29 (土) 16:00	沖縄県医師会館	沖縄県認知症疾患医療センターシンポジウム手術で改善する認知症特発性正常圧水頭症の診断と治療(仮) <b>(日医生涯教育講座)</b> 特発性正常圧水頭症の診断と治療について	①銘苅 晋(浦添総合病院脳血管・脊髄センター) ②渡嘉敷 崇(沖縄病院神経内科) ③橋本 衛(熊本大学大学院生命科学部神経精神医学分野神経精神科)	1.5単位・29)62)65)	琉球大学医学部附属病院精神科 真栄田・城間 098-895-1765 参加費 なし
10/09 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①②未定	①1.0単位・9)15) ②1.0単位・15)73)	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-888-5552 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。  
※お願い:10月10日～12月9日迄の講演会例会等が決まれば、8月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

平成 30 年度 産業医研修会案内

平成 30 年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A・ B・ C・ D・ E・ F・ G・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に  
 実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協  
 力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務 1 課  
 (TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)



平成30年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

※単位制の研修につき、**時間厳守**をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	4月26日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 総論(2単位) 「やりがいのある産業医活動」 (2) 健康管理(2単位) 「職場の受動喫煙対策(新型 タバコ対策も含めて)」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	5月31日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 作業環境管理(2単位) 「産業医活動における作業環 境管理の活用法～作業環境測 定をどのように作業環境管理 に用いるか～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「ストレスチェック時代の産 業医が取り組む職場のメン タルヘルス対策」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 山本 和儀 先生
終了	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	6月14日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 総論(2単位) 「産業保健における産業医の 役割～産業医活動を実施す る際の留意点を中心に～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達 の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
終了	基礎(実地) 生涯(実地) 【定員60名】	7月12日(木) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) メンタルヘルス対策(3単位) 「職場環境改善による医療従 事者のメンタルヘルス不調 の予防策」	(1) 山本 和儀 先生
E	基礎(後期) 生涯(専門)	8月16日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業環境管理(2単位) 「作業環境管理の把握と活用 ～作業環境をハードおよび ソフト両面から捉えよう～」 (2) 健康保持増進(2単位) 「健康な職員は会社の財産」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 伊志嶺 隆 先生
F	基礎(後期) 生涯(専門)	10月18日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業管理(2単位) 「作業管理の実際～過重労働 対策(過労死等予防対策)を中 心に～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「医療従事者のメンタルヘル ス対策」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 山本 和儀 先生
G	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	10月27日(土) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における産業医の健康管 理の係わり方～健康管理にも PDCA サイクルを回そう～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達 の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
H	基礎(実地) 生涯(実地)	12月15日(土) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(3単位) 「職場における健康情報提供の 具体策 健康診断事後指導・ 啓発の実際」 ※パソコンをお持ちの方で、当日持ち込みが 可能な方はご持参ください。その場合、モ バイルルーター等 Wi-Fi の接続機器もお 持ちでしたら、あわせてご持参ください。	(1) 清水 隆裕 先生

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した  
場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願いいたします。

参考 沖縄県医師会 産業医研修会年度別開催スケジュール（平成26年～平成30年度）

研修名称		研修内容	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
I 基礎 研修	前期研修 (未認定医14単位以上)	(1) 総論(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(2) 健康管理(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(3) メンタルヘルス対策(1単位)	6/19		6/16		5/31
		(4) 健康保持増進(1単位)		4/16		5/25	
		(5) 作業環境管理(2単位)	6/19		6/16		5/31
		(6) 作業管理(2単位)		4/16		4/20	
		(7) 有害業務管理(2単位)		6/18		5/25	
		(8) 産業医活動の実際(2単位)		6/18		4/20	
		(9) その他					
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上)  更新研修 (認定医1単位以上)	(1) 労働衛生関係法規と関係通達の改正	10/30	5/21	5/19、10/15	7/8、10/19	6/14、10/27
		(2) その他	5/15	7/16			
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	実地研修 (未認定医10単位以上) (認定医1単位以上)	(1) 健康管理		6/20			12/15
		(2) じん肺の胸部エックス線検査					
		(3) メンタルヘルス対策	11/13	11/12	6/4	7/27	7/12
		(4) 健康保持増進				11/18	
		(5) 救急処置			11/17		
		(6) 作業環境管理・作業管理	8/23				
		(7) 職場巡視と討論					
		(8) その他		7/12			
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上)  専門研修 (認定医1単位以上)	(1) 総論	5/15		5/19		6/14
		(2) 労働衛生管理体制(総括管理)		5/21、7/12		7/8	
		(3) 健康管理	7/17	8/20	7/14	8/10	10/27
		(4) メンタルヘルス対策	9/13	10/8	8/25	6/15	10/18
		(5) 健康保持増進	7/17		7/14		8/16
		(6) 作業環境管理	10/30		10/15		8/16
		(7) 作業管理		7/16		6/15	10/18
		(8) 有害業務管理		11/26		10/19	
		(9) 労働衛生教育		8/20		8/10	
		(10) その他	9/13		8/25		
		研修会開催回数	8回	10回	8回	8回	8回

【未認定医】

- ・ 新規認定の為には基礎研修（前期研修14単位以上・実地研修10単位以上・後期研修26単位以上）合計で50単位以上の修得が必要です。
- ・ 未認定医は「2年程度」で産業医の認定資格が得られます。

【認定医】

- ・ 認定産業医の更新には、認定証取得後（有効期限内5年間）に生涯研修（更新研修1単位以上、実地研修1単位以上、専門研修1単位以上）20単位以上の修得が必要です。
- ・ 認定医は1年間では単位取得が可能です。

# 平成30年度 産業保健研修会予定表

## ～産業保健かわら版(前期)～

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。

参加ご希望の方は「申込書」に記載の上、このままFAX(098-859-6176)にてお申し込み下さい。

ホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。(http://www.okinawas.johas.go.jp)

**※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただいております。ご了承ください。**

〒901-0152 沖縄県那覇市宇小塚1831-1

沖縄産業支援センター 2階

独立行政法人 労働者健康安全機構

沖縄産業保健総合支援センター

本研修会は無料です。

※キャンセルの場合は御連絡下さい。

TEL098-859-6175

FAX098-859-6176

● **産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医研修手帳」をご持参ください。)**

【研修場所 沖縄産業支援センター3階会議室】

研修会番号	日 時	研 修 テ ー マ	内 容	講 師	研 修 会 場
6	8月2日(木) 18:30~20:30	動機づけ面接(生涯実地)	動機づけ面接は、アルコール依存症に対する治療成績が良かった治療者の応答手技を解析することにより、体系・確立化された面接スタイルです。本研修では、その動機づけ面接の基本的なスキルの体験をいたします。	清水 隆裕 (産業医学)	303室
7	8月3日(金) 18:30~20:30	うつ病の最近の話題と認知行動療法による予防(生涯専門)	うつ病の最近の話題、認知行動療法によるうつ病の回復と予防、その他	仲本 晴男 (メンタルヘルス)	303室
8	8月10日(金) 18:30~20:30	職場メンタルヘルスの理解と対応(生涯専門)	事業者の法的責任、心の健康保持・指針、過重労働、労災、復職、自殺予防、その他	仲本 晴男 (メンタルヘルス)	303室
9	8月29日(水) 18:30~20:30	産業医が取り組む、病態を考慮した職場のハラスメント対策(生涯専門)	上司や同僚・部下等との人間関係の悪化が職場の生産性を下げ、メンタル不調や休職・退職、労災請求・裁判での紛争に至ることもある。ハラスメントを行なう側、受ける側の病態に即した産業医の立場で取り組むハラスメント対策の方法について学んでいただく。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	303室
10	9月26日(水) 18:30~20:30	産業医のための労働衛生法令②(生涯更新)	産業医を中心とした産業保健スタッフによる「職場巡視」、「安全衛生委員会の活動」等について詳しく説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
11	9月27日(木) 18:30~20:30	カウンセリング技法を学ぶ(認知行動療法)(生涯専門)	近年、注目されている「認知行動療法」により、いわゆるマイナス思考をプラス思考にギアチェンジするための技法を学びます。	福地 孝 (カウンセリング)	304室

## 申 込 書

※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。

FAX 098-859-6176

開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室				
フリガナ(必須)氏名		研修会番号	6 , 7 , 8 , 9 , 10 , 11		
所属機関(事業場名)		所属部署			
職 種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他( )				
電話番号		F A X			

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただいております。また、「かわら版」の研修予定以外に研修会を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

**嘱託産業医活動情報書**

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。  
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 平成 年 月 日 ( )

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項目	ご希望条件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ( )
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
( )に第何週か記入下さい	①第 ( ) 水曜日 ②第 ( ) 木曜日 ③第 ( ) 土曜日
ストレスチェックの <b>実施者</b> になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの <b>共同実施者</b> になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先  
 沖縄県医師会業務1課(久場)  
 TEL:098-888-0087  
 FAX:098-888-0089

## 平成 30 年度災害医療研修プログラム開催のお知らせ

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた態勢の整備として、平成 26 年度より独自に災害医療研修プログラムを実施しております。

今年度の開催プログラムが決定いたしましたのでお知らせします。

各コースへの受講申込は、下記により FAX (098-888-0089) にてお申し込み下さい。

	日時	プログラム	研修形態
1	6月28日(木) 19:30~21:00	災害総論	終了
2	7月21日(土) 15:00~17:00	熊本市南区における災害活動支援の実態(仮称) 招聘講師:熊本市南区自治体職員	台風の為、 延期
3	9月27日(木) 19:30~21:00	災害現場医療対応の原則(急性期)	講義、図上
4	10月11日(木) 19:00~20:30	大規模災害発生時における多数死体検視(仮称)	講義
5	12月13日(木) 19:30~21:00	CBRNE(テロ災害) ~TOKYO2020 東京オリンピック・パラリンピック に向けて~	講義

※ 研修コースは全て沖縄県医師会館(3Fホール)で開催予定です。

----- 参加申込票 -----

■ FAX.098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	<del>1</del> . <del>2</del> . 3 . 4 . 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

沖縄県医師会事務局 業務1課 山川、崎原  
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

## ～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第60回 新おきなわICLSコース (終了)	5月27日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第61回 新おきなわICLSコース (終了)	7月22日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第62回 新おきなわICLSコース	10月7日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第63回 新おきなわICLSコース	11月25日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第64回 新おきなわICLSコース	2月10日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
<p>✚ 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師8,000円、コメディカル6,000円を予定しています。</p>		
<p>✚ 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。</p> <p>✚ 沖縄県医師会 <a href="http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html">http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html</a></p> <p>✚ おきなわクリニカルシミュレーションセンター <a href="http://okinawa-clinical-sim.org/course.html">http://okinawa-clinical-sim.org/course.html</a></p>		
<p>✚ 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。</p>		
<p>・問い合わせ先：<a href="mailto:trees@me.au-hikari.ne.jp">trees@me.au-hikari.ne.jp</a> (沖縄ERサポート 林 峰栄)</p> <p>・問い合わせ先：沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原)</p> <p>TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089</p>		



インバウンド医療通訳コールセンターの開設について

今般、沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、24時間365日対応の多言語コールセンター(名称: Be.Okinawaインバウンド医療通訳コールセンター)を開設し、電話通訳やメール翻訳サービスを提供(無償)することです。

また本年6月からは個々の医療機関では対応が困難なケースに対処するため、「医療機関向け相談窓口(実証実験/24時間365日対応/無償)」をスタートすることです。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいませようご案内申し上げます。




外国人観光客へ医療サービスを提供する沖縄県内の医療機関様

Be. Okinawa 医療通訳多言語コールセンター  
電話医療通訳サービス  
メール翻訳サービスのご案内

沖縄県では外国人観光客の急増に伴い、病気やケガ等で外国人観光客が医療機関を受診する件数が増加していることを受け、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの期間、外国人観光客に医療サービスを提供する県内の医療機関を対象に24時間いつでも利用できる **電話での多言語医療通訳とメール翻訳サービス** を開始します。

また、県内の外国人観光客の医療の現状や先進事例の把握・分析を行うことで、インバウンド医療体制の整備や、より外国人観光客を受け入れやすい環境づくりを支援致します。ぜひ、ご活用ください。

サービス内容① 

- ご来院の外国人観光客との**電話機**の受け渡しによる電話での医療通訳サービス

サービス内容② 

- メールでのやり取りによる**簡易**メール翻訳サービス

**TEL : 03-6635-0230**

**対象機関** 外国人観光客の受入にすでに取り組んでいる 又は取り組みたい県内の医療機関様

**対応言語** 通訳: 英語 / 中国語 (北京語・広東語) / 韓国語 / タイ語 / スペイン語 / ポルトガル語  
翻訳: 英語 / 中国語 (簡体字・繁体字) / 韓国語 / スペイン語 / ポルトガル語 / ベトナム語 / タイ語

**対応期間** 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日 / 24時間体制



沖縄県 医療通訳対象施設向け

# メール翻訳サービスのご案内 2018.04

## 【 翻訳のご利用方法 】

### メール翻訳サービス

問診票、同意書、領収書などの院内書面（日本語→外国語）や問い合わせメール対応（外国語→日本語）などにご活用ください。

#### ① 対応言語

日本語 / 英語 / 中国語（簡体・繁体） / 韓国語 / ポルトガル語 / スペイン語  
ベトナム語 / タイ語

#### ② 文字数

1回分 原稿 A4 サイズ 1 枚以内

(文字の目安) 英語 / ポルトガル語 / スペイン語 / ベトナム語 / タイ語 100word

(文字の目安) 日本語 / 中国語 / 韓国語 200 文字

#### ③ 翻訳件数

1 施設あたり 10 件 / 月まで

#### 翻訳ご依頼時の注意事項

※1 言語 1 件とカウントします。

※契約書等、法解釈を含むものの翻訳は対応いたしかねます。

#### ④ 納品時間

72 時間以内に納品

※文字数により、納品時間をご相談させていただきます。

#### ⑤ 依頼方法

専用メールアドレス (okinawa\_mi@bricks-corp.com) まで、メールにてご依頼ください。



**Be. Okinawa 医療通訳多言語コールセンター**

翻訳依頼データ受付メールアドレス

**okinawa\_mi@bricks-corp.com**

注意事項) こちらの依頼データ受付メールアドレス・お電話番号は対象施設様にもみ公開しております。  
一般の方からの電話はお受けできませんのでお取り扱いにはご注意ください。





# 大切なお知らせ！



Be.Okinawa インバウンド医療通訳コールセンター

**【医療機関向け相談窓口（実証実験）】を  
2018年6月1日より開始いたします。**

沖縄県では外国人観光客の急増に伴い、病気やケガ等で外国人観光客が医療機関を受診する件数が増加しております。それに伴い以下のような事例が発生しております。



**事例**

- ① 外国人観光客が死亡した際の対応方法  
国によって対応方法が違う・・・・・・。
- ② 外国人観光客が救急搬送され、本人は診療後に退院、帰国を希望  
退院後に何かあった場合、医療機関側の責任は・・・・・・。  
医療機関としては、安静が必要な状況・・・・・・。
- ③ 外国人観光客の急病入院が長期化  
ビザの延長手続き、医療費支払、相手国への緊急搬送・・・・・・。

医療機関向け相談窓口では、各医療機関で個別対応した事例をヒヤリングし、沖縄県内の医療機関全体の外国人観光客の事例を集約、情報共有にて、医療機関からの問合せに、即対応出来る体制を構築していく予定です。

対象期間	外国人観光客の受入に既に取組んでいる又は 取組みたい県内の医療機関様
対応期間	平成30年6月1日～平成31年3月31日/24時間体制
電話番号	03-6635-0231

**問い合わせ先**

医療通訳サービス運営事務局（株式会社ブリックス・株式会社シャイニング）

TEL: 098-868-5230 (平日 9:30~18:00) FAX: 043-332-8868 E-mail: okinawa@bricks-corp.com

〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目4番12 株式会社シャイニング内

沖縄県医療通訳サービス 2018/4

**生涯教育／プライマリ・ケア**

平成 29 年 7 月 1 日

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得ようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ.

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ.

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ.

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. [http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide\\_0.html](http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html) (2016 年 8 月 16 日閲覧)

**月間 (週間) 行事お知らせ**

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

**発言席**

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

**勤務医 / 臨床研修医**

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

**地区医師会**

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況  
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

**若 手**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

**随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆**

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

**本の紹介**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

**いきいきグループ紹介**

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

**身近な闘病記**

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

**追悼文**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

**広 告**

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

**投稿の方法**

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

**著作権**

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

**送付先・問い合わせ先**

沖縄県医師会 庶務課  
〒901-1105 南風原町新川 218-9  
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089  
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

まずは表紙の写真。まさに沖縄の8月、真っ青な海。空中からのダイブはとても涼しいだろうと思いきや、ドローンからの撮影とのこと。原先生の年代はアナログ派が普通と思いましたが、先生はデジタル派ですね、お見逸れいたしました。8月号は6月で退任された役員、新役員の先生方の挨拶から始まります。玉城信光前副会長には12年3ヶ月の長きにおいて色々なことを発案、実行されてきたことを簡潔に書いていただきました。紙面が許すのであればもっと書きたいことは多々あると想像できますが、お許しいただきたいと思えます。金城忠雄前常任理事も12年に及ぶ役員歴の中で、印象的なことを書かれています。先生の専門である、母体保護法指定医師の審査・指定が一般社団法人の沖縄県医師会でもできるようになったこと、産業保健担当理事として県医師会事務局に産業医を選任、職員の健康管理に尽力されたことは特筆すべきことと思えます。喜久村徳清前監事が6年3ヶ月の職務で一度も休むことがなかったとはびっくり、先生が小学校を卒業するようで感慨深いと書かれていることに照らし合わせて皆勤賞の授与を安里会長に進言しなければと考えます。先生は医師会報に写真や随筆をよく投稿されました。紙面の限界から先生の希望通りに行かなかったことも多々ありましたが、この場を借りてお詫び申し上げます。3名の先生方のご功績に改めて経緯を評するとともに、これからも県医師会へのご支援・ご鞭撻を宜しくお願ひしたいと思えます。新理事には、空の森クリニックの徳永義光先生、

那覇西クリニックの玉城研太朗先生です。新監事には、きなクリニックの喜納美津男先生です。3名ともフレッシュな立場からこれからの決意を書いていますので本誌をご一読ください。報告1は現在勤務医にとって重要な課題である「医師の働き方改革」に対して県医師会館で行われた「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組に関する病院長等との懇談会」の内容です。報告2は本県の大規模災害時に在沖米軍、海軍病院との協力は不可欠とのことで、災害医療コーディネーターの出口宝先生、佐々木秀章先生の海軍病院訪問記です。報告3は日本医師会館で行われた平成30年度都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」連絡協議会の内容です。生涯教育はこれから更に増加すると思われる誤嚥性肺炎の原因となる摂食嚥下障害について中地亮先生が解説しています。ぜひ読んでいただきたいと思えます。プライマリ・ケアコーナーで伊敷洋平先生の高齢者の発熱の検討は高齢者の発熱の診察の注意点（丁寧な病歴聴取、身体所見）が不必要な抗菌薬の回避に繋がると述べ大変印象的でした。最後は緑陰随筆です。10名の先生方に投稿いただきました。どれも興味深く一気に読んでしまいました。お二人の大先輩はこれまでの医師人生を淡々と振り返り、処世術などが興味深いです。その他、旅に関するもの、グルメのおすすめ、診療を楽しくするコツなど会員の先生方のお役に立つもの満載です。是非是非読んでいただきたいと思えます。

広報委員 本竹 秀光